

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番地5号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所・大阪証券取引所市場第一部

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

コニシ株式会社

大阪本社/〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL:06(6228)2811
東京本社/〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 TEL:03(5259)5711



KONISHI REPORT

株主通信 第84期

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

コニシ株式会社

証券コード 4956

新社長紹介



代表取締役社長 **大丸 智夫**

略歴

出身地 京都府
 最終学歴 青山学院大学 経済学部 卒業
 生年月日 昭和20年8月29日
 略歴 昭和43年4月 入社
 平成 9年4月 総務本部経営企画室室長
 10年3月 ボンド事業本部営業本部第一事業部事業部長
 12年6月 取締役
 ボンド事業本部営業本部副部長
 15年3月 取締役
 ボンド事業本部営業本部部長
 16年4月 常務取締役
 ボンド事業本部営業本部部長
 17年4月 常務取締役 ボンド事業本部部長
 19年4月 常務取締役 事業推進本部部長
 19年6月 専務取締役 事業推進本部部長

会社の概要 (平成21年3月31日現在)

- 設 立 大正14年9月25日
- 資 本 金 46億03百万円
- 従 業 員 数 連結993名、単独710名
- 事 業 所

本店
 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号

大阪本社
 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号 北浜TNKビル

東京本社
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目3番地 竹橋スクエア

ボンド営業本部
 〒541-0046 大阪市中央区南野町2丁目1番2号 沢の鶴ビル

支店 名古屋、福岡、札幌

営業所 仙台、北関東、南関東、金沢、広島、高松

製造拠点 栃木工場、浦和工場、滋賀工場

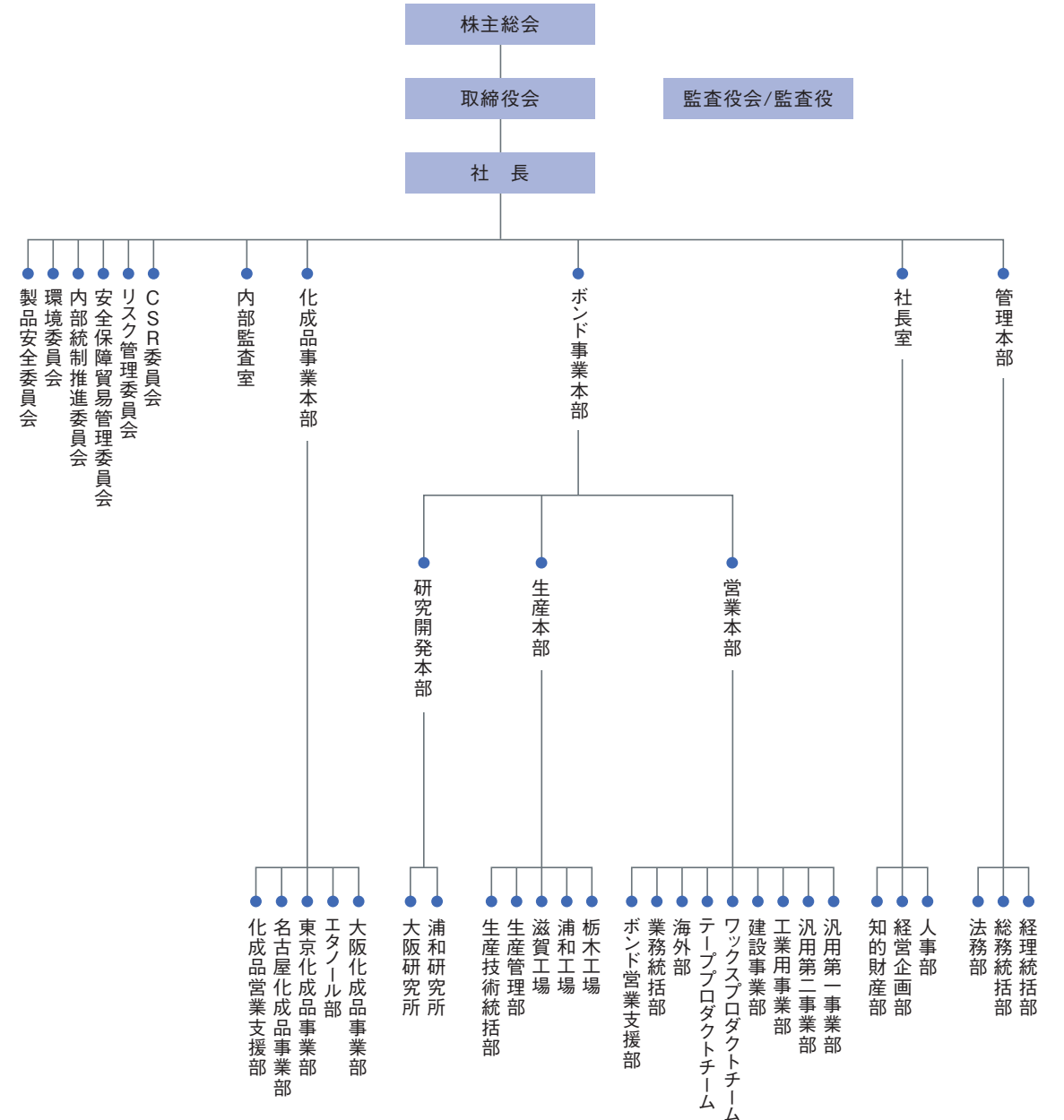
研究所 浦和、大阪

■ 役 員 (平成21年6月29日現在)

代表取締役会長	福 島 功
代表取締役社長	大 丸 智 夫
専務取締役	小 路 英 敏
常務取締役	尾 張 正 厚
常務取締役	東 郷 正 人
常務取締役	山 下 博 史
取 締 役	小 西 哲 夫
取締役兼執行役員	五 島 洋 文
取締役兼執行役員	横 田 隆
常 勤 監 査 役	長 島 帥 武
監 査 役	井 上 洋 一
監 査 役	杉 尾 嘉 昭
監 査 役	竹 内 鈴 子
執 行 役 員	濱 多 慶 一
執 行 役 員	小 野 信 英
執 行 役 員	渡 邊 肇
執 行 役 員	栗 山 裕 功

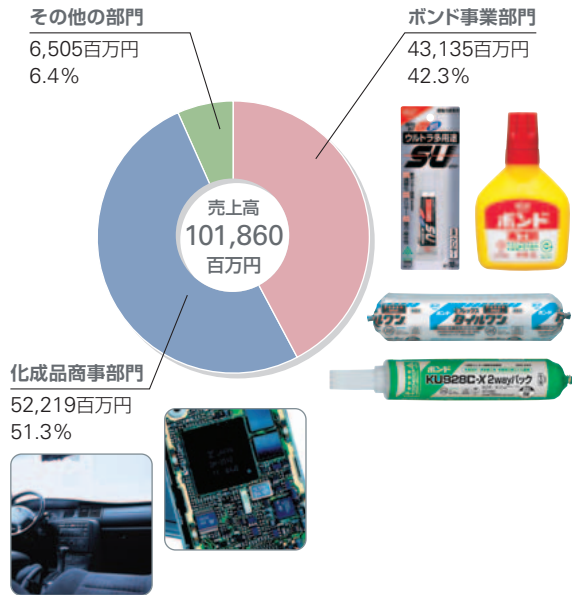
(注1)平成18年6月1日付で執行役員制度を導入しました。
 (注2)監査役 井上洋一氏、杉尾嘉昭氏および竹内鈴子氏は、社外監査役であります。

■ 組織図 (平成21年6月29日現在)



業績について

■ [連結] セグメント別売上高構成比



配当について

利益配分に関する基本方針として当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と認識しており、収益性を重視した企業活動により、財務体質の充実を図り経営基盤の強化に努めるとともに、配当性向30%を目標に安定した配当を堅持する方針です。内部留保金については、新製品の生産設備や生産性の向上を図る自動化・省力化設備への投資、環境に配慮した高機能製品の研究開発活動、環境負荷低減に係る投資などに有効活用し業績向上に努める所存です。

当期(平成21年3月期)の期末配当は、1株当たり10円といたしました。すでに実施いたしました中間配当金10円と合わせた年間配当金は20円となります。また、次期(平成22年3月期)の配当は、当期と同額の年間配当金20円を予定しております。

当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、年度前半は原材料・燃料コスト高による企業収益の圧迫と同時に企業の設備投資や個人消費の減速傾向がみられました。年度後半は米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機の影響により世界経済が同時不況に突入し、株価の下落や不況下での円高進展、輸出・設備投資の減少などから鉱工業生産が低迷し企業収益が激減するなど、国内景気は急激に悪化し危機的状況に直面しております。

当社グループの関連業界では、建設業界や工事業界は公共投資が総じて低調に推移し、住宅投資の低迷から新設住宅着工戸数も減少基調にありました。また、電子・電機、自動車業界は需要減速に直面し減産強化に追い込まれ、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、ボンド事業部門では各分野でナンバーワン製品の育成を図るとともに、環境と安全に配慮した製商品の開発を進め、売上・利益の増大に努めました。化成品商事部門では、新市場の開発を進め、市場競争の中で競争力を強化し、事業領域の拡大を図り、収益力向上に努めました。また、生産効率の向上、物流の効率化等による各部門の経費節減により、安定利益の確保に努めました。

しかしながら、年度前半までの原材料価格の高騰、年度後半からの急激な国内外の需要減少の影響により、当連結会計年度の売上高は1,018億60百万円(前期比11.8%減)、営業利益は17億82百万円(前期比42.6%減)、経常利益は17億8百万円(前期比42.0%減)、当期純利益は6億59百万円(前期比44.8%減)となりました。

セグメント別概況のご説明

ボンド事業部門

工業用接着剤は、景気後退から住宅投資が低迷し、新設住宅着工戸数が低調に推移したことにより内装施工用など住宅関連での販売数量の低迷が続き、年度後半からの鉱工業生産の大幅な減少の影響を受け、生産工場用が低迷し、建築工事用では耐震補強工事は堅調であったものの建築(外壁)補修が減少したことにより、販売数量、売上高ともに減少しました。一般家庭用接着剤は、個人消費が低迷する中、SUポリマー製品、補修材の販売が好調に推移し、市場の育成も実り始めたことから、販売数量、売上高ともに微減にとどまりました。シーリング材は、年度後半から改修工事が減少し、好調であったビル建設用シーリング材の販売数量が減少し、さらに一般住宅用製品も低調でしたが、製品価格の是正により、売上は堅調に推移しました。ワックスは、景気の影響を大きく受け、年度後半は厳しさを増しましたが、環境配慮型容器(エコパック)製品が好調に推移し、売上高は微減にとどまりました。

サンライズ・エム・エス・アイ(株)は、自動車用シール材が年度後半の自動車生産台数大幅減の影響を受けたものの、戸建て用シーリング材が好調に推移したことにより売上高が増加しました。中国の生産拠点である科陽精細化工(蘇州)有限公司は、自動車生産台数の減少や家具木工用の低迷により売上高が減少しました。

以上の結果、売上高は431億35百万円(前期比3.3%減)、営業利益は10億55百万円(前期比41.2%減)となりました。

化成品商事部門

化学工業向けは、年度前半は好調に推移しましたが、原料状況の変化および需要の減少により売上高が減少しました。エタノールについては新規開拓が進み好調に推移しました。塗料業界向けは特殊塗料を扱っているため、景気の影響をそれほど受けなかったことから、売上

セグメント

ボンド事業部門	化成品商事部門	その他の部門
ボンド事業本部	コニシ(株)	
	化成品事業本部	不動産部門
	連結子会社	
水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド販売(株) サンライズ・エム・エス・アイ(株) 科陽精細化工(蘇州)有限公司	科昵西貿易(上海)有限公司 丸安産業(株) 台湾丸安股份有限公司 Kony Sunrise Trading Co., Ltd.	ボンドエンジニアリング(株) 日本ケミカルデータベース(株) コニシ工営(株) ミクニペイント(株)

平成21年3月期 連結子会社合計 13社

高は微減にとどまりました。電子・電機業界では年度後半の業界低迷が大きく響き、IT関連材の販売が低迷したため、売上高が大幅に減少しました。また、自動車業界においても年度後半の輸出の大幅な減少と国内販売の低迷が大きく響き、自動車の電子部品関連基材の販売が低迷したため、売上高が大幅に減少しました。

丸安産業(株)においても、年度後半より薄膜材料、化成品電材ともに低迷し、売上高が大幅に減少しました。中国市場への販売拠点である科昵西貿易(上海)有限公司においても中国国内の景気低迷に影響を受け、売上高は減少しました。

以上の結果、売上高は522億19百万円(前期比19.5%減)、営業利益は4億30百万円(前期比53.3%減)となりました。

その他の部門

ボンドエンジニアリング(株)は耐震補強工事の受注が依然好調に推移し、売上高が増加しました。ミクニペイント(株)は年度前半は堅調に推移していましたが、年度後半より金属用、プラスチック用塗料の受注が激減し、売上高が減少しました。日本ケミカルデータベース(株)は景気低迷の影響を若干受けましたが、化学品データベース関連ソフトは時代のニーズに合致しており、売上高は堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は65億5百万円(前期比7.1%増)、営業利益は2億82百万円(前期比25.2%減)となりました。

連結財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	科 目	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)
[資産の部]		[負債の部]	
流動資産	40,724	流動負債	21,583
現金及び預金	8,435	支払手形及び買掛金	16,378
受取手形及び売掛金	25,622	短期借入金	1,247
有価証券	498	1年以内に償還予定の社債	1,000
商品及び製品	4,423	1年以内に返済予定の長期借入金	49
仕掛品	135	リース債務	18
原材料及び貯蔵品	575	未払法人税等	180
未成工事支出金	185	繰延税金負債	1
繰延税金資産	427	賞与引当金	750
その他	585	役員賞与引当金	22
貸倒引当金	△164	その他	1,935
固定資産	17,217	固定負債	4,771
■ 有形固定資産	11,735	長期借入金	115
建物及び構築物	4,137	リース債務	80
機械装置及び運搬具	1,973	繰延税金負債	87
工具器具及び備品	379	退職給付引当金	995
土地	5,151	役員退職慰労引当金	550
リース資産	92	長期預り保証金	2,366
建設仮勘定	0	負ののれん	1
■ 無形固定資産	201	その他	573
■ 投資その他の資産	5,280	負債合計	26,354
投資有価証券	2,356	[純資産の部]	
長期貸付金	33	■ 株主資本	30,401
差入保証金	803	資本金	4,603
繰延税金資産	976	資本剰余金	4,182
その他	1,336	利益剰余金	22,230
貸倒引当金	△225	自己株式	△615
資産合計	57,942	■ 評価・換算差額等	△119
		その他有価証券評価差額金	△117
		為替換算調整勘定	△1
		■ 少数株主持分	1,305
		純資産合計	31,587
		負債・純資産合計	57,942

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	101,860
売上原価	87,777
売上総利益	14,083
販売費及び一般管理費	12,300
営業利益	1,782
営業外収益	247
受取利息	24
受取配当金	80
受取補償金	24
その他	118
営業外費用	321
支払利息	53
売上割引	154
為替差損	82
その他	31
経常利益	1,708
特別利益	344
固定資産売却益	0
貸倒引当金戻入益	51
投資有価証券売却益	137
退職給付制度改定益	155
特別損失	705
固定資産処分損	69
投資有価証券評価損	615
役員退職慰労金	10
会員権等評価損	10
税金等調整前当期純利益	1,347
法人税、住民税及び事業税	555
法人税等調整額	134
少数株主損失	△2
当期純利益	659

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	1,347
減価償却費	1,273
のれん償却額	54
投資有価証券評価損益(△は益)	615
投資有価証券売却損益(△は益)	△137
有形固定資産処分損益(△は益)	62
有形固定資産売却損益(△は益)	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	87
賞与引当金の増減額(△は減少)	△81
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△14
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△869
受取利息及び受取配当金	△104
支払利息	53
売上債権の増減額(△は増加)	10,232
たな卸資産の増減額(△は増加)	△37
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,157
その他の固定負債の増減額(△は減少)	586
その他	167
小計	4,057
利息及び配当金の受取額	103
利息の支払額	△52
法人税等の支払額	△951
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,156
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△308
定期預金の払戻による収入	907
有価証券の取得による支出	△998
有価証券の売却及び償還による収入	1,000
有形固定資産の取得による支出	△715
有形固定資産の売却による収入	0
投資有価証券の取得による支出	△41
投資有価証券の売却による収入	246
その他	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	100
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△369
長期借入金の返済による支出	△98
リース債務の返済による支出	△11
配当金の支払額	△400
少数株主への配当金の支払額	△18
自己株式の取得による支出	△429
株式の発行による収入	4
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,321
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△13
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,922
VI 現金及び現金同等物の期首残高	6,449
VII 現金及び現金同等物の期末残高	8,372

連結財務諸表

個別業績の概要 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

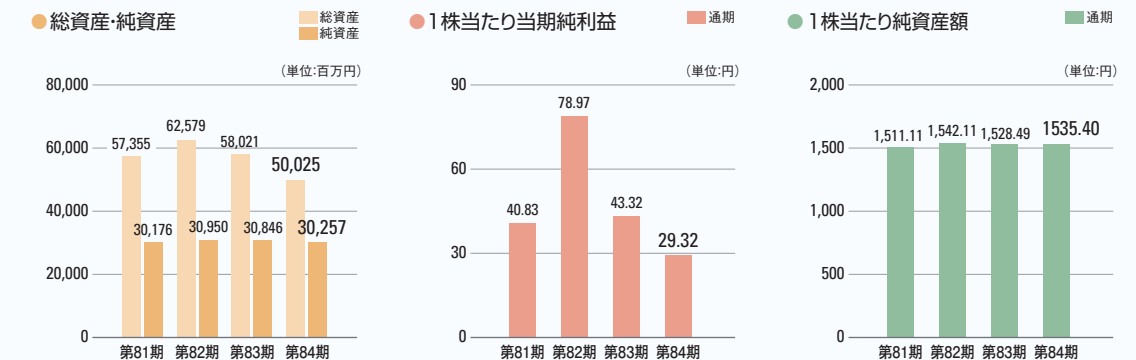
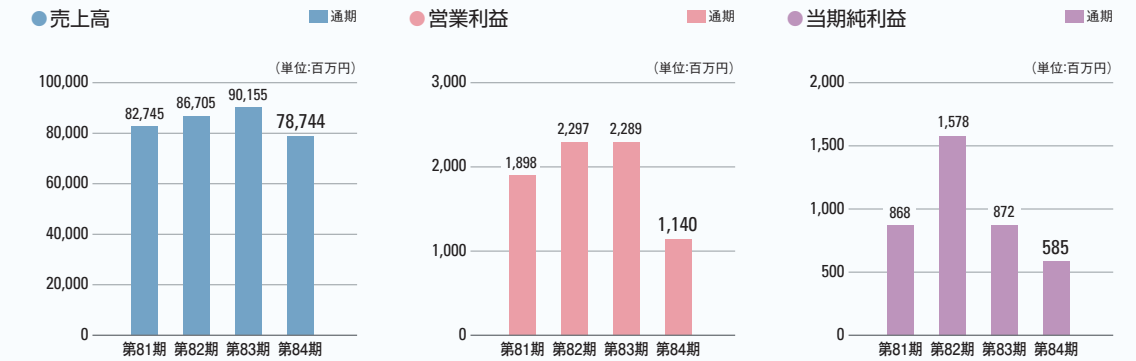
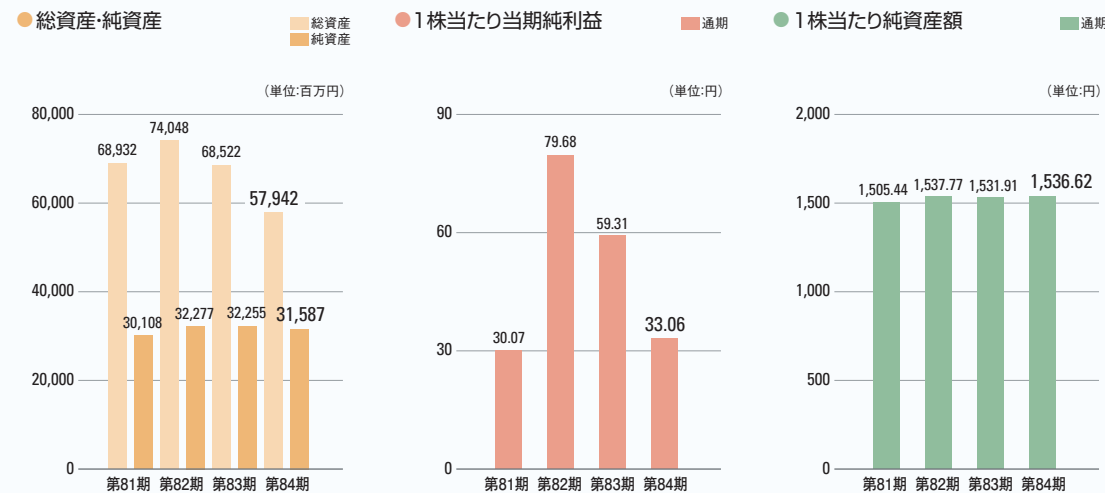
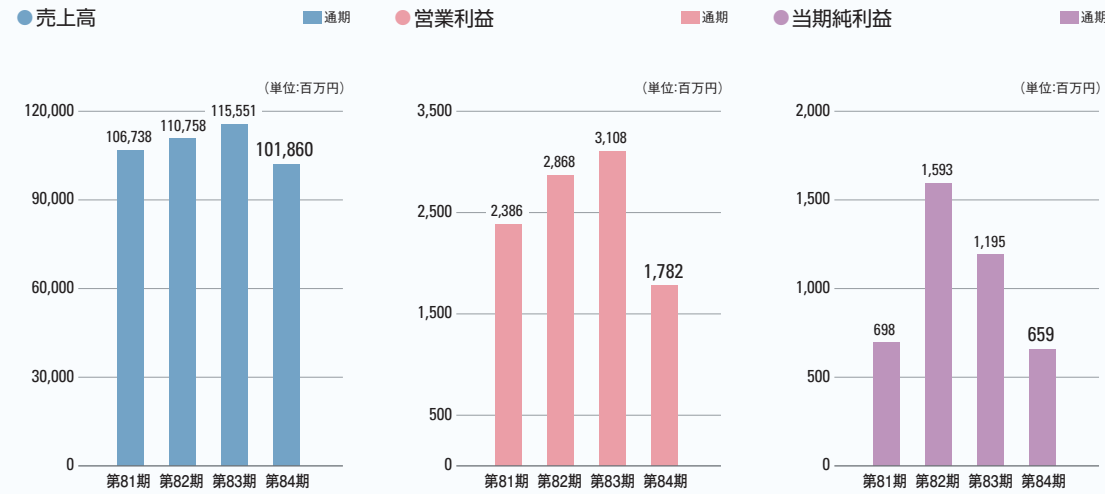
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別経営成績

科目	当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	78,744百万円	90,155百万円
営業利益	1,140百万円	2,289百万円
経常利益	1,287百万円	2,256百万円
当期純利益	585百万円	872百万円
1株当たり当期純利益	29円32銭	43円32銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	43円21銭

個別財政状態

科目	当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
総資産	50,025百万円	58,021百万円
純資産	30,257百万円	30,846百万円
自己資本比率	60.5%	53.2%
1株当たり純資産	1,535円40銭	1,528円49銭



TOPICS

個人投資家フェアへの出展

2008年12月に東京国際フォーラム、2009年2月は京セラドーム大阪で開催されました「資産管理フェア」に企業紹介ブースを出展しました。両会場で合計4万人を超える来場者に当社のシンボルである「ボンドウ木用(20g入 非売品)」をお配りして企業PRを行いました。



ボンドウ木用 ホビータウンオープン

「ものづくりが大好きな仲間が集う街『ボンドウ木用 ホビータウン』がオープンしました。一般家庭用の「ボンドウ」製品を使って趣味の世界でもものづくりを楽しむ方の作品発表の場としてプラットフォームを用意しました。是非、ご覧いただき、お作りになられた作品の発表の場としてご活用ください。



株主アンケートにご協力ありがとうございました。

昨年第2四半期のコニシレポート(株主通信)をお送りした際にアンケートを実施させていただきました。頂戴したご意見は今後のコニシのPR活動やIR活動に活用させていただきます。御礼として「ボンドウ ホームボックス」をお送りしました。

※アンケートにご協力いただきました株主様の中に、氏名・住所を記載しておられない株主様が数名いらっしゃいました。お心当たりの株主様におかれましては、お手数ですがコニシ株式会社大阪本社 経営企画部 広報・IRグループまで電話連絡賜りますようお願い申し上げます。

電話番号(06)6228-2877(担当:小田切/村田)

株式の状況(平成21年3月31日現在)

■ 株式数

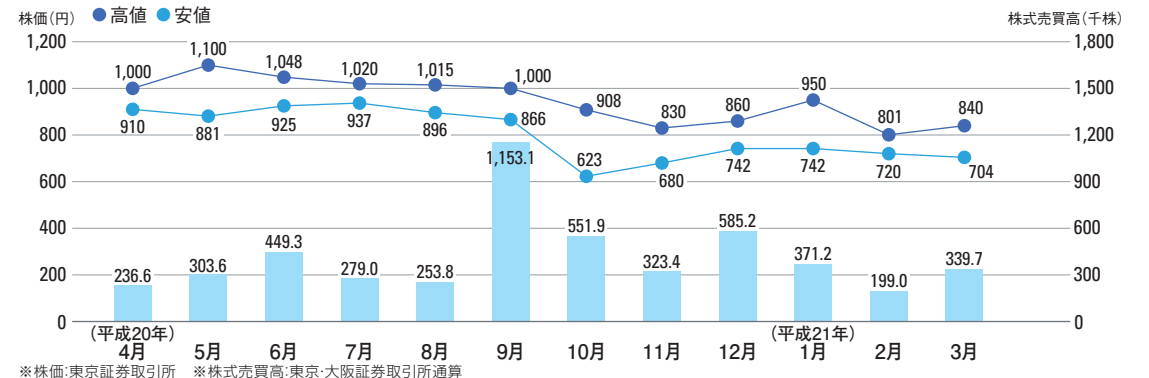
発行可能株式総数	80,400,000株
発行済株式総数	20,353,720株
1単元の株式数	100株
株主数	3,960名(前期末比33名減)

■ 大株主(上位10名)

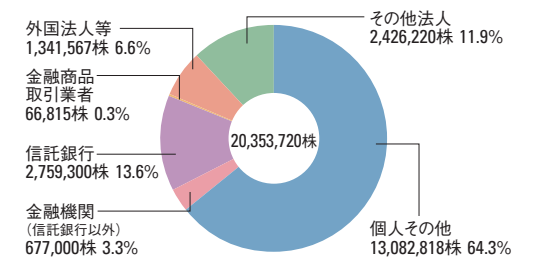
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
小西信一郎	1,485,276	7.5
コニシ共栄会	1,040,000	5.2
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	755,700	3.8
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4G)	703,800	3.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	674,000	3.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	452,000	2.2
小西千代子	410,424	2.0
コニシ従業員持株会	400,928	2.0
井上道子	345,000	1.7
小西哲夫	316,280	1.6

(注1)日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)、同(信託口)の持株数は、すべて信託業務に係る株式であります。
(注2)出資比率は、自己株式(646,917株)を控除して記載しております。また、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

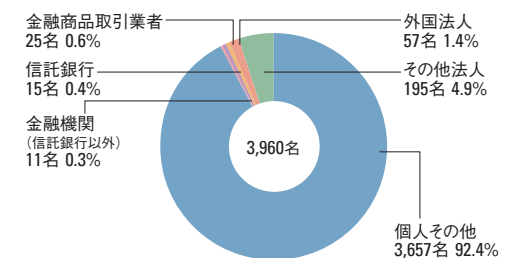
■ 株価および株式売買高の推移



■ 所有者別株式数の分布状況 ※自己株式含む



■ 所有者別株主数の分布状況



■ 所有株数別株主数の分布状況

